

HELLO SAGA #95

2019 夏号

心の国境をなくそう!
~Free your heart of borders!~



佐賀県国際課と共に「多文化共生に関する行政職員向け研修会」を4月25日・26日に開催しました!改正出入国管理法が施行された新年度の始めに、県内全市町村の自治体の皆さんと一緒に「多文化共生」について考える機会を持つことができました。

一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事田村太郎さんを講師に迎え、全国の事例をお聞きしました。外国人住民を含めた地域住民が安心安全に暮らす具体的な方法はなんだろう?講師や事例発表者のお話を聞いて、参加者皆さんで考え、悩み、アイデアを出し合う二日間となりました。

これからも連携・協働で皆さんと共に「多文化共生」を推進していきます!

公益財団法人
佐賀県国際交流協会
Saga Prefecture International Relations Association [SPIRA(スパイラ)]

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1番12号 佐賀商工ビル1F
TEL.0952-25-7921 FAX.0952-26-2055
E-mail:info@spira.or.jp
Consultation Service (相談専用) TEL.0952-22-7830

ここにこなやみゼロ



<https://www.spira.or.jp>

(日本語、英語、中国語、韓国語のページがあります)



<https://facebook.com/spira.saga/>

出入国管理法が改正されました

外国人労働者の受け入れを拡大する改正出入国管理法が4月1日に施行されました。今回の制度は、深刻な人手不足の状況に対応するため、一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人を受け入れる制度で、新たに2つの在留資格が設けられました。相当程度、一定の技能を持つとされる「特定技能1号」と、より熟練した技能が必要とされる「特定技能2号」です。人手不足に悩む14業種に今後5年間で最大34万人の受け入れが見込まれています。

すでに、昨年12月末時点で過去最多の約273万人の外国人が日本で生活しています。今回の制度により今後、様々な国からさらに多くの外国人が日本に来て働き、生活することが考えられます。新たな制度の下、労働者として日本に来る外国人は、日本で暮らしている外国人と同じく、住民であり生活者です。今回新たにできた在留資格、特定技能1号の人たちは、家族を連れてくることができませんが、日本で結婚して子供が生まれることもある



でしょうし、2号の人たちは子供を連れてくる事が認められています。その結果、生活者として日本での暮らしが中長期にわたる外国人家族が増える可能性があります。

外国人が安心して生活できる環境を作ることが課題です。外国人住民の方々が安心安全に佐賀で日々の生活を送り、仕事をし、そして子育てをできるように、一人ひとりが考え方行動していく必要があります。

今年の
メインイベントは
10月6日(日)
伊万里市民
図書館

**2019
さが国際フェスタ月間**
～世界を感じる1ヶ月!!～

10月1日～31日

佐賀にいながら、いろんな国に行ったような体験ができる、「さが国際フェスタ月間！」新たな世界との出会いがありますよ！
みなさんぜひ遊びにきてください^^\r 今年は伊万里市と共に開催でメインイベントを伊万里市民図書館で開催します。
詳しい情報は協会HPやFBにも随時掲載していくので、お楽しみに♪

佐賀にいる外国人についてや出身国のこと、みなさんはどれくらいご存知ですか？

普段外国人の方を目にする事はあっても、一緒に交流したり、互いの国の文化への理解を深める機会はそう多くはないのでしょうか。

SPIRAでは、国際交流イベントに参加することで異文化理解を深めてもらったり、地域に住む外国人の方との交流で、お互いのことを深く知り親睦を深めてもらうことを目的に、毎年10月にさまざまなイベントを開催しています。



第4回 外国人による日本語スピーチコンテスト 出場者募集!!

今年で4回目となるこのコンテスト、今回はさらに多くの人達に出場していただけるよう参加資格や時間などを一新しました。みなさんの周りの外国人のみなさんにぜひご案内ください！

⌚ 2019年10月27日(日) 13:00～16:30(予定)

📍 佐賀メディカルセンター1F 健康支援センター 多目的ルーム
(佐賀県佐賀市水ヶ江1丁目12-10)

👤 佐賀県内に住む外国人で、母語が日本語以外の者

(青少年部門は、佐賀県内に住む外国にルーツを持つ子どもで母語が日本語以外の者)

部門：青少年の部(18歳まで) 6名 / 成人の部(19歳以上) 12名

※テーマ等の詳細はHPやFacebookをご確認ください。

詳しくは当協会の
ホームページをご覧ください。



医療通訳養成講座、開催します



○医療通訳とは？

外国人住民の増加に伴い、医療機関における外国人患者とのコミュニケーションが課題となっています。SPIRAは、県内各地に住んでいる、さまざまな母語を話す外国人住民が病院で安心して医療を受けられるよう取り組んできました。その取り組みの一つが医療通訳の派遣です。医療通訳センターは、医療現場、異なる文化や立場の人たちの間に入り、対話コミュニケーションをつなぐ、言葉のボランティアです。

医療通訳センターの派遣件数は、派遣制度開始のH25年度より、合計692件（H31年3月31日現在）となりました。医療通訳派遣制度において医療通訳センターのみなさんは重要な存在であり、外国人住民は安心して医療サービスを受けることができます。

○医療通訳養成講座、10月～12月開催！

SPIRAでは、医療通訳センターを養成する講座をこの秋開催します。講座の開催にあたって、広く一般市民の皆さんに医療通訳について知っていただくために初回は公開講座とし、9月21日に開く予定です。その後、10月より12月まで8回にわたり、医療通訳センターとして登録し活動することを希望される方々を対象に、必要な基礎知識や医療通訳センターとしての心構え、そしてロールプレイ等を通して実践に結びついたカリキュラムを受講していただきます。



くわしい講座日程は、SPIRAのホームページやFacebookでお知らせいたします。

佐賀県が取り組む多文化共生 Vol.9

『外国人と共に働くシリーズ No.2』

今年度は、全4回のシリーズで「佐賀で外国人と共に働くことは、どういうこと？」や「外国人がいる職場って、どんな職場？」などをテーマに、『共に働く』ということについて外国人が佐賀で働く中で抱えている悩み、思いを率直に綴ります。

≪今回のゲスト≫

★サントス・タバさん ★ネパール出身
★嬉野市にある温泉ホテルのスタッフ

笑顔がとっても優しくて、物腰の柔らかい話し方が印象的なネパール人男性。某ホテル予約サイトには、「逆に日本人としてのおもてなしの精神を教えてもらいました！」などタバさんの素敵なおもてなしに心を打たれた日本人観光客の声がたくさん！そんなタバさんに、佐賀で働く外国人としての素直な声を聞きました。

Q. どうして佐賀（嬉野市）へ？

A. 2017年の10月に佐賀に来るまでは、福岡で日本語とホテルのサービス業を勉強していました。しばらく生活してみて、佐賀のような自然がたくさんあるところで静かに生活したいと思うようになったんです。休日は嬉野の足湯めぐりをします。好きな食べ物は、薬味と温泉豆腐をかけて食べる真っ白なごはんです。ここでの生活は、私に完璧に合っています！



Q. どんな仕事をしてるの？

A. 日本人と全く同じです。お客様に美味しい温泉豆腐の食べ方も日本語で説明します。うちのホテルは6種類も薬味があるので覚えるのが大変でしたが、今では完璧です！

Q. 日本人と働いて大変なこと、難しいことは？

A. 佐賀弁が難しいですね…。学校で勉強した日本語と違いますから!たとえば、佐賀弁では「何をですか?=何ば?」になりますね?「大丈夫ですか?」です。最初は、全くわからず、とてもショックでした。せっかく日本語を勉強したのに(苦笑)。でも、同僚は、私がわからなったら、標準語で説明しなおしてくれます。お客様は、私が外国人だと思って標準語で話してくれますから、聞き取れないということはあんまりないです。



Q. 最後に、タバさんの目標や夢は何ですか？

A. 目標は、もっと日本語が上手になって日本人のように料理の説明ができるようになって、もっとたくさんのお客様に嬉野のいいところを紹介したいです。お客様に「日本語がよくできますね～!」「お世話になりました。また来ますね。」と言われたらとても嬉しいんです。夢は、「ネパールで仕事に就けない人の支援」をすることです。私は、人のお世話をするのがとても好きですから!

インタビューをしてみて、タバさんの穏やかで優しい笑顔、誠実な人柄がお客様の体も心も癒してくるんだろうなと感じました。詳しくは、佐賀県国際課のFacebook「Excellent Saga」に載っています。是非ご覧ください！

Facebook



賛助会員団体紹介

《唐津ボランティアガイド》

唐津ボランティアガイドは、唐津を訪れる外国人旅行者や滞在中の外国人に対する接遇の向上を図る為、ボランティア精神に基づき善意で奉仕し、地域社会の国際交流、国際マナーの進展、同趣旨で行われる地域外での国際交流活動も支援することを目的に1988年12月に設立されました。

今日に至るまで唐津市で開催された世界規模のヨット大会を始め、唐津くんち、唐津やきもん祭り、七山国際渓流滝登り、クルーズ船唐津寄港等の行事に、外国人に対し意思疎通が円滑に行えるようにサポートしてきました。近年は全国的な外国人旅行者の増加で、唐津も以前に比べ外国人訪問者が増え、活躍の場が広がっています。

今後も海外の方々に「唐津」を知ってもらい、「唐津」に多くの海外の方々が集い、交流の場が増え、ひいては「唐津」の地において交流人口が増えることを願っております。交流人口が増えれば、地域が活性化し、賑わいを生み、人や物を増やし、それが経済活動にも繋がるものと期待しております。

唐津ボランティアガイドの中にはおもてなしの心を持った、様々な言語を理解できる会員がいます。外国語の実力の程は問いません。活動に興味がある方は是非、ご連絡下さい。

貴方には、多くの新しい出会いが待っています。



外国人のための無料健康相談会

SPIRAでは、唐津市にある済生会病院の協力を得て、外国人を対象にした無料の健康相談を年に3回程度行っています。

看護師とソーシャルワーカーに健康についての不安や、日本の医療制度について相談ができます。

みなさんの周りに困っている外国人がいたら、この相談会をご紹介ください。

⑤ 7月21日(日) 13:00~15:00

佐賀県国際交流プラザ(佐賀商工ビル1F)

対象:外国人住民

えびすFM「心の国境をなくそう!ラジオで地球発見隊」の放送日のお知らせ

4月からえびすFMで「SPIRA、JICA九州、佐賀県海外協力協会」共同のラジオプログラム「心の国境をなくそう!ラジオで地球発見隊」がスタートしました!ゲストを交えながら国際交流・協力や多文化共生に関する情報を発信しています♪みなさんお聴き逃しなく!

⑥ 毎月第1、3水曜/20:00~21:00

第1水曜:JICA九州+佐賀県海外協力協会『Jump to the World』

第3水曜:SPIRA(佐賀県国際交流協会)『SPIRA 多文化わいわい』

聴取方法:ラジオ周波数「89.6MHz」、スマホアプリ、パソコンからも聴取可能です

くらしさぼーとさがの外国人無料相談会

行政書士さんによる外国人のための無料相談会です。

予約をすれば通訳もつきますので、日本語ができなくても大丈夫です。

⑦ 毎月第3土曜日 13:00~16:00

090-3328-2123 (くらしさぼーとさが 松枝さん)

※通訳が必要な人は、予約してください。

その他のイベントやセミナーについては、
当協会のHPやFacebookで随時更新します!

《佐賀県労働者福祉協議会》

私たち労福協(労働者福祉協議会)は、日本が戦争に負け、多くの国民が食料や生活物資が不足する中で何とかこの危機を突破したいとの思いで、当時の労働組合や生活協同組合が一緒になって1949年に発足しました。米や着る服の確保など本当に切実な要求を運動として展開してきました。佐賀県労福協は1967年(昭和43年)に発足しています。もう50年がたちました。

今では、私たちは、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を構築することを目標としています。すなわち、お金やGDPでは測れない価値を重視する社会、人ととのつながり・絆が大切にされる、ぬくもりのある社会、貧困や社会的排除を許さない社会、環境に優しい持続可能な社会を目指しています。

とりわけ、多様な価値観や文化の違いを認め合える人材の育成とすべての子どもたちを包摂する教育を推進することが大切であることを目標として活動を続けています。

いわゆる多文化共生は、日本で生きる人だれもが幸せを願い、働くことの安心感を抱くことができるためのワークルールとディーセンターワークの確立にあると思います。

このような考え方に基づき、「何でも相談事業」や「無料法律相談会」「大学での新入生(留学生を含む)を対象とした消費者教育の実施」「大学でのライフサポートセンターの紹介」などに取り組んでいます。

近年留学生の方や技能実習で来られている方々の相談も件数は少ないですが連絡がっています。

日本で働き、日本で定住していただける世界の方々を大切にし、地域とともに生活できる状況を作り出していくことが、佐賀県労福協の「国際貢献」なのではと思います。



2019年5月23日に行われた
佐賀女子短期大学での新入生(留学生を含む)セミナー

賛助会員募集!

当協会では「多文化共生の地域づくり」に取り組んでいます。「多文化共生」意識の醸成とさらなる向上のため、賛助会員を広く募集しています。皆様のご支援の程よろしくお願いいたします。

■賛助会員の区分と会費

個人会員	年会費 1口	3,000円 (1口以上)
団体会員(団体・企業・機関等)	年会費 1口	10,000円 (1口以上)

■会員の特典

- 協会発行の国際交流・協力情報誌「Hello SAGA(年4回発行)」を郵送
- 「Hello SAGA」に団体の紹介文を掲載(年間8団体程度)
- 協会のオリジナルノベルティを進呈
- 民族衣装の無料貸出



HP

Facebook



Find us on
Facebook